

当院を受診された患者様とそのご家族および代理人の方へ

当院では下記の研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合は、連絡期間内に下記の問い合わせ先にご連絡ください。

研究課題名	病院における管理栄養士の配置基準に関する政策立案に資する調査研究
当院研究責任者	上白根病院 栄養科 唐木由喜
連絡期間	情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合は、2022年2月28日までに下記の問い合わせ先にご連絡ください。
研究の目的と意義	患者様の栄養障害の実態、栄養障害の程度が入院中の経過にどのように影響するのかを明らかにすること。また、管理栄養士がどのように栄養管理に関わっているかを調査することで、管理栄養士の病棟での必要性を明らかにすること。
研究の方法	患者様の診療記録をさかのぼり、入院時の栄養状態や栄養補給量や内容、管理栄養士が関わる頻度について調査を行います。
対象者	当院に入院された患者様のうち、2021年11月1日～2021年11月30日の間に退院した方（20歳未満の方を除きます）
利用する情報	<p>【施設調査 調査1】病院の栄養管理体制、病棟ごとの栄養管理が必要な患者数 病床数、入院患者数、管理栄養士の人数、栄養管理業務配置状況、栄養管理関連加算の算定状況、栄養管理計画書「特別な栄養管理を必要とする」該当患者数、栄養スクリーニング指標、栄養スクリーニング判定結果、平均在院日数。栄養管理関連加算は「特別食加算、入院栄養食事指導料、NST加算、栄養情報提供書加算、早期栄養介入管理加算」を示す。</p> <p>【患者調査 調査2】既存の診療録データ</p> <p>①基礎情報 年齢、性別、原疾患、入院中手術の有無、クリニカルパス逸脱の有無、転記先、在院日数</p> <p>②栄養指標 身長、体重(入院時・退院時)、入院時血清アルブミン値、栄養補給量の不足の有無(入院時・退院時)、代謝ストレス・炎症の有無(入院時)、栄養補給法(入院時・退院時)、入院時栄養評価、退院時栄養状態転帰</p> <p>③栄養管理関連情報 栄養管理関連加算の有無、栄養管理計画書が作成された患者に対して管理栄養士介入迄の日数、管理栄養士による栄養管理の内容および量(診療録への記録回数・食事箋代行入力回数・介入頻度)</p>
研究組織	<p>【研究代表者】 神奈川県立保健福祉大学 栄養学科 准教授 五味郁子</p> <p>【研究分担施設】 聖マリアンナ医科大学病院 済生会横浜市東部病院 南大和病院 上白根病院 横浜旭中央総合病院 日本鋼管病院 聖マリアンナ医科大学横浜市西武病院 横浜新緑総合病院 日本栄養士会</p>
情報の院外提供	<p>提供先機関：神奈川県立保健福祉大学</p> <p>提供先責任者：五味郁子</p> <p>提供方法：セキュリティ機能付きUSBメモリに保存し、神奈川県立保健福祉大学に運搬</p>
研究資金源	研究者の私費
結果公表	日本栄養士会雑誌へ投稿予定
研究終了後の情報の取り扱い	本研究のデータ保存期間は、研究終了後5年間とし、その後データ取り扱い時にプリントアウトされた紙媒体は、大学および各病院でシュレッダー処理を行い、電子媒体は大学および各病院でデータが復旧できない状態とします。
問い合わせ先	〒241-0002神奈川県横浜市旭区上白根2-65-1 電話045-951-3221 上白根病院 栄養科 唐木由喜